

主催：ジェトロ・シンガポール、ブルネイ経済開発委員会（BEDB）

後援：在ブルネイ日本国大使館

開催時期：2025年3月6日（木）10：00～11：45（105分）

プログラム		講演者
1.開催趣旨		ジェトロ・シンガポール 所長 木村洋一
2.ゲストご挨拶		菊田 豊 駐ブルネイ日本国特命全権大使
3.共催者挨拶		経済開発委員会（BEDB）最高経営責任者（CEO）代理 ダニエル・レオン 氏
4.ブルネイ投資環境		経済開発委員会（BEDB）ムハンマド・イクワン・マハディ 氏 （石油・天然ガス産業下流部門/エネルギー転換担当）
5.ケーススタディ	1.ブルネイで活躍する日本企業	三菱商事株式会社 ブルネイ駐在事務所 副所長 足立 清香 氏 ちとせアルジーファーム 代表 志村 直巳 氏
	2.日本企業にとってのブルネイのアグロビジネス	モリ・エンタープライズ 創業者 Jun Hong Lim 氏
	3.ブルネイの観光の魅力と日本企業にとってのビジネスチャンス	フレイミートラベル インバウンドツアー副マネージャー 清水典子 氏
6.Q&A（5分）		-
7.閉会コメント	ブルネイへの誘い(日本人会より)	VAM@BRN 社長 岡部浩二 氏
		ブルネイ・メタノール・カンパニー執行役員 木竜明彦 氏

●ケーススタディ

1.ブルネイで活躍する日本企業：

・「ブルネイ概要と三菱商事の事業展開」 三菱商事株式会社 ブルネイ駐在事務所 副所長 足立 清香 氏
——ブルネイの概要に簡単に触れていただいた後、ブルネイでの事業のアウトラインのほか、ブルネイでビジネスをされているお立場から、ブルネイの投資環境についてお話しできます。

・「ブルネイからの藻類事業展開」 ちとせアルジーファーム（旧 タベルモ・バイオファーム）代表 志村 直巳 氏
——ちとせアルジーファームの属するちとせグループは、日本と東南アジアで活動するバイオベンチャー企業群。ブルネイでは、近い将来訪れると想定される「タンパク質危機」という社会課題を“藻（スピルリナ）”で解決することを目指し、その生産拠点を日射量が豊富なブルネイに設置。ブルネイでの事業の概要やブルネイ進出の背景、ASEANでのビジネスにおけるブルネイの位置付け、ブルネイの投資環境についてお話しできます。

2.「日本企業にとってのブルネイのアグロビジネス」

・モリ・エンタープライズ 創業者 Jun Hong Lim 氏
——オーガニック農園「モリ・ファーム」を運営。2017年に開設、2018年から製品をスーパーなどへ販売開始。20エーカーの農地でスーパーフードといわれる「モリンガ」を約5,000本栽培。他にもミント、ディル、レモングラスなどのハーブを栽培。従業員20人弱。加工商品としてお茶などをスーパーなどで販売し、日本等にも輸出を検討。自然生育、循環型農業を目指し、健康な土壌を育成することを重視。ブルネイでのアグロビジネスの魅力や課題、日本とブルネイ企業の連携の可能性などについてお話しできます。

3.「ブルネイの観光の魅力と日本企業にとってのビジネスチャンス」

・フレイミートラベル インバウンドツアー副マネージャー 清水典子 氏
——ブルネイ現地の旅行エージェント。同国における観光業のアウトラインに触れていただき、同社の事業の概要を紹介いただいた後、日本企業にとっての観光分野でのビジネスチャンスについてお話しできます。